

日本原子力学会核燃料部会 第31回核燃料部会総会議事録(案)

日時：平成20年9月5日(金) 12:05～12:20
場所：高知工科大学教育研究棟A A113
出席者：約20名

1. 活動報告

庶務担当から活動報告を行った。質問、コメントはなく、承認された。

(1) 総会：

平成20年9月5日(金) 高知工科大学

(2) 運営委員会：

平成20年度第1回 平成20年5月12日(月)
平成20年度第2回 平成20年7月17日(木)
平成20年度第3回 平成20年9月5日(金)

(3) 部会企画セッションプログラム

平成20年9月4日 13:00～14:30 (秋の大会 於：高知工科大学)
(核燃料部会, 水化学部会合同)

「軽水炉燃料信頼性向上の観点から燃料と水化学が連携すべき課題と将来の取組み方法について」
座長(三菱マテリアル)磯部 毅

- (1) BWR燃料の水に関連する将来課題と解決に向けたアプローチ (東京電力) 阿部 守康
- (2) PWR燃料の水に関連する将来課題と解決に向けたアプローチ (関西電力) 荒川 恵史
- (3) 水化学側から軽水炉燃料の将来課題解決に向けたアプローチ (原電) 門井 英一
- (4) パネルディスカッション

軽水炉燃料と水化学の境界領域における将来課題の効率的な解決に向けた連携について

ービジョンや具体的方法ー

上記講演者、(JAEA)内田 俊介、(阪大)宇埜 正美、(電中研)河村 浩孝、
(原燃工)土内 義浩、(東芝)四柳 端

(4) 第23回 核燃料夏期セミナー

平成20年7月17日(木)～19日(土) 於、香川県ことひら温泉「琴参閣」

(5) 研究専門委員会

『核燃料技術基盤の高度化』研究専門委員会

[主査](JAEA)石島清見殿

[設置期間] 平成17年6月1日～平成21年3月31日

『先進的原子力システムにおける燃料・材料』研究専門委員会

[主査](東海大)山脇道夫殿

[設置期間] 平成18年4月1日～平成22年3月31日

2. 平成19年度決算及び平成20年度予算 —— 添付資料御参照

庶務担当から添付資料を参照し活動報告を行った。質問、コメントはなく、承認された。

3. 運営委員

庶務担当から平成20年度の運営委員の交代と、業務担当を紹介した。

(1) 第30回総会(平成20年3月27日)以降の運営委員交代

(東北大学)塩川 佳伸 → (東北大学)佐藤 修彰 (H20.5.12付)

(三菱マテリアル)磯部 毅 → (ジルコプロダクツ)若松 竜治(H20.5.12付)

(2) 平成20年度業務担当

担当		平成20年度担当者
広報		[名大]松井委員
部会報		[ジルコプロダクツ]若松委員
国際活動		安部田副部長
国内企画(横断活動、年会時企画)		[阪大]山中委員、[電中研]木下委員
庶務幹事(財務含む)		[東京電力]阿部委員
夏期セミナー幹事		[京大]森山委員、[JAEA]更田委員
部会代表	部会等運営委員	安部田副部長
	評議員	岩田部長、安部田副部長

4. 今後の活動計画

庶務担当から今後の下記の活動計画を説明した。

(1)会報第44-2号の発行時期に誤記があり、正しくは平成21年1月頃であることが口頭にて修正された。

(2)講演会については、9月19日に「先進的原子カシステムにおける燃料・材料」研究専門委員会と

核燃料部会共催でIAEAガンگری部長を招いての講演会が実施されることが確認された。

夏期セミナーについて、材料、水化学、核燃料3部会共催のセミナーを企画中であること、意見、提案が

あればGNF伊東委員へのインプットをお願いすることが紹介された。

また、部会長より、原子力への追風が吹き始めてきており、学会活動についても足元を見直し、将来に向

かって進展が望めるよう、見直しの議論を展開していきたいので、議論に是非参加、コミットして欲しいと

の意見が出された。

(1)会報：

第44-1号(平成20年9月発行予定)、

第44-2号(平成20年1月頃発行予定)

(2)講演会：未定

(3)国際会議：WRFPM2008(平成20年10月19日～22日、於：ソウル)

(4)総会：平成21年春の年会時(平成21年3月23日～25日)

(5)運営委員会：

平成20年度第4回運営委員会(平成20年12月頃予定)

平成20年度第5回運営委員会(平成21年春の年会時)

(6)第24回夏期セミナー：材料・水化学・核燃料の3部会共催夏期セミナーを平成21年度に開催することを

計画。実施時期、場所は今後決定。

以上

添付資料

核燃料部会平成19年度決算および平成20年度予算案

		平成19年度予算・実績			平成20年度予算	
		予算	実績	備考	予算	備考
収入	部会配付金	273,000	273,000	学会連絡	269,000	学会連絡
	論文集売上、掲載料	0	0		0	
	送料		1,000			
	セミナーテキスト売上	0	15,000		0	
	セミナー残金	83,000	48,522	H19年度夏期セミナー	0	夏期セミナー残金について 予算段階での収入計上を せず
	寄付金・賛助金	0	4,000	セミナー外国人講師源泉税 徴収預かり金(納税不要)	0	
	合計	356,000	341,522	予実差 ▲14,478	269,000	
支出	会議費	0	0		0	
	通信費、発送費	67,000	14,935	会報発行回数は2回/年。 夏版は電子ファイルで配 送。冬版発送費 (¥41,704)はH20支払。	67,000	会報発行回数は2回/年。 夏版は電子ファイルで配 送。
	消耗品費	0	1,260		0	
	印刷費	140,000	0	会報印刷費。冬版印刷費 (¥180,600)はH20支払。	140,000	会報印刷費
	講師謝礼、旅費	90,000	0	講師への謝金と旅費	62,000	講師への謝金と旅費
	委員旅費	0	0		0	
	管理費配賦額	77,000	77,000	学会連絡	73,000	学会連絡
	国際会議等支払助成 金	0	50,000	日韓合同夏の学校	0	
	補助金支出(事)	0	4,000	寄付金収入事務処理	0	
	セミナー補助金	0	0		0	
	その他					

	テキスト作成管理	0	0		100,000	核燃料テキスト作成管理
	HP管理	40,000	61,000	HP管理上期分。下期分 (¥30,000)はH20支払。	80,000	HP管理
	合計	414,000	208,195	予実差 151,260	522,000	
年度	収支差額	▲58,000	133,327	予実差 191,327	▲253,000	

	年度末繰越金	1,218,888	1,410,215	予実差 191,327	1,157,215	
--	--------	-----------	-----------	-------------	-----------	--

(注)H19年度未支払支出 ¥252,304については、H20年度支払となる(H19年度収支は実質▲¥118,977)。H19年度未払分のH20年度支払考慮後の、H20年度支出合計は ¥774,304、収支差額▲¥505,304、H20年度末繰越金は ¥904,911と予想される。

以上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)

(c)日本原子力学会核燃料部会 : 2008-12-15